

# 帯広市立帯広第八中学校開校 50 周年記念事業プラン R5 年 10 月

## CONCEPT

- ・開校 50 周年の歴史を振り返り、帯広第八中学校のさらなる発展を願うものとする。
- ・子どもの教育環境を整え、これからの帯広第八中学校の教育を充実させる機会とする。
- ・50 周年と関連付けた学校行事や周年事業を通して愛校心を育み、母校の発展を願い 21 世紀を逞しく生き抜く力を身に付けさせる機会とする。
- ・保護者・教職員・各種団体・地域の皆様と協力し、地域の核としての帯広第八中学校の発展に繋がる事業とする。
- ・50 周年事業に関わる教職員、保護者の負担軽減を優先し、会議等は極力減らし 20 時までには作業を終えるよう徹底する。



## だい 代々を受け継ぐ活動

八中の伝統・校風を理解し、その良さを受け継いでいく。

### ① 記念誌の発行(編集部)

- ・50 年の歴史を掲載
- ・令和 5 年度卒業学級と令和 6 年度全学級の特集ページの掲載
- ・PTA 役員、教職員・歴代校長・歴任教頭、卒業生名簿の掲載
- ・令和 7 年 1 月に発行(令和 5 年度卒業家庭にも配布)

### ② 教育環境整備(事業部)

- ・例年よりも環境整備箇所を拡大して行う。
- ・教育環境充実のために必要な物品等を整備する。



## は 半世紀を祝う活動

50 年という節目において、記念事業を通して母校の歴史・伝統・校風を体感する。

### ① 50 周年記念の冠行事を通して(学校)

- ・体育祭や文化祭において、種目や内容を工夫した行事を開催

### ② 開校 50 周年記念式典を通して(事業部)

- ・儀式的行事として挙行し、洗練させた企画を大切にする
- ・功労者表彰(歴代校長、歴代 PTA 会長、各種団体の方々 など)を行う
- ・子どもの教育活動や学校の様子などを動画などで紹介する

### ③ 記念事業を通して(事業部・事務局)

- ・航空写真撮影 ・生徒への記念品



## ち 地域とつながる活動

母校の開校 50 周年を主体的に捉え、先人が築いてきた 50 年の歴史と伝統を受け継ぎ、新たな歴史の始まりとして後輩へと繋ぐ。

### ① テーマとシンボルマークの公募(事業部)

- ・全校生徒を対象に公募し、採用者並びに入賞者への表彰

### ② テーマ看板の設置(事務局)

- ・校舎北側道路に向けて設置

### ③ 周知・PR(事務局)

- ・学校便り、学校ホームページ など

### ④ PTA や地域と学校を繋ぐ(協賛会)

- ・開校 50 周年記念事業協賛会の運営を三者で連携し、事業を成功へと導く。